

感染症予防のための弊団の取り組み

○練習時

- 通常2人で1本使っている譜面台を1人1本にする。
- 1m以上のできるだけ広い間隔を空けて椅子を配置する。
- マスクを着用しないで活動をする際は2mの間隔を空ける。
- 弦楽器、打楽器奏者は演奏時も必ずマスクを着用する。
- 適宜換気をする。
- 椅子は、使用者が使用前後に消毒液を染みこませたキッチンペーパーで拭く。
- 譜面台やメトロノームは原則個人のものを使用する。団所有のものを使う場合は、使用者が練習前後に消毒液を染みこませたキッチンペーパーでこれらの用具の手が触れる部分を重点的に拭く。
- 管楽器から出る水分は新聞紙などで受ける。
- 団員は厚生労働省の新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)をスマートフォンにインストールする。
- 練習に参加する場合、各団員は自宅で検温を行う。練習直前にも非接触式体温計で体温計測をする。
- 過去2週間以内で以下の項目に該当する団員は、練習参加を見合させる。
 - ・平熱を越える発熱（おおむね37度5分以上）がある場合
 - ・咳やのどの痛みなど風邪の症状がある場合
 - ・倦怠感（だるさ・体が重い・疲れやすい）がある場合
 - ・呼吸困難（息苦しさ）がある場合
 - ・味覚や嗅覚の異常がある場合
 - ・新型コロナウイルス感染症に陽性とされた者との接触がある場合
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航者又は当該在住者との濃厚接触がある場合

○公演当日

- 「○練習時」の項目を、リハーサルや本番においても遵守する。
- 開場から開演までの時間を長めにとることで、入場時の密集を回避する。
- 座席を前後左右一席あけて配置する。